

徳島大学病院において内視鏡的大腸ポリープ切除を受けられた方へ

「次世代シーケンサーを用いた大腸腺腫の全トランスクリプトーム解析および新たな血清分子マーカーの確立」研究の実施について

1. 本研究の意義および目的

大腸ポリープ(腺腫)は前がん病変であり、放置するとやがて大腸がんを発生します。現在、大腸ポリープは内視鏡検査をしなければ発見することはできませんが、血液検査で発見できれば数多くのポリープを簡便に発見でき、大腸がんの予防に有効な検診方法になります。

そこで本研究では、大腸ポリープ組織のごく一部を用いて、全トランスクリプトーム解析という方法でマイクロ RNA という特殊な RNA を解析します。これによって大腸ポリープを有する患者様特有の分子マーカーを確立することが目的です。マイクロ RNA は血液中に存在するので、最終的には大腸ポリープの血液診断を可能にすることが目的です。

2. 試験の方法

徳島大学病院消化器内科において、大腸内視鏡検査を受け内視鏡的に切除した大腸ポリープ組織を用います。診断に用いられたポリープ組織のうち、残りのごく一部(約 100 ミクロン)を用いますので、本試験によって、患者様は通常の検査以外には負担を負いません。

これらのポリープ組織は、米国ベックマン研究所に輸送され、マイクロ RNA が抽出され、次世代シーケンサーを用いて全トランスクリプトーム解析が行われます。

3. 試料等の保存および使用方法について

この試験についての記録は、試験の中止又は終了後 3 年の間保管されます。

4. 試験全体の期間と予定症例数

期間：承認日～2026年 8 月 31 日まで 予定症例数：200 例

5. 研究結果の公表について

本試験の結果の一部又は全部を学会や雑誌等に公表する場合には、責任者の責任のもとに取り扱うこととなります。

6. 個人情報に関して

患者様のプライバシーを保護するために、識別コード(番号)などを用いて検査結果を取り扱うますので、患者様の名前が出ることはありません。

7. 本研究への参加を拒否する場合

検査を受けられる方は、本人の自由意思によって本試験への参加を拒否することができ、その場合は下記の連絡先までご連絡して頂く。

8. 研究機関、研究責任者および研究者

- 【研究機関】 徳島大学病院消化器内科、米国ベックマン研究所
【研究責任者】 徳島大学病院消化器内科 教授 高山哲治
【研究分担者】 消化器内科・副科長 宮本 弘志
消化器内科・助教 岡田 泰行

9. 連絡先

徳島大学病院 消化器内科

TEL:088-633-7124

FAX:088-633-9235

本研究への参加に同意しない場合は、上記連絡先または研究者までご連絡下さい